

第3回 ミニ探究発表会に向けて

# 不登校についての 研究計画

6年 A組 11番 飯田 麻友

# 論文の「問い」と「結論 (Yes/No)」

---



Yes/Noクエスチョン

小学生の不登校の児童に対して  
無理やり学校に行かせることはいいことか

現時点での結論 (YesかNoで)

No! 良くないと思う

# はじめに：クエスチョンについての 問題意識・基礎知識

なぜ、この問いを設定したのか



実体験から不登校を中心とした教育系に興味

不登校児童に対して適切な対応とは何か

本人だけでなく周囲の人

変わらないといけないのではないか

この発表を聞くにあたって、知っておいてほしいこと

## 不登校の原因の多様さ

学校生活上の影響

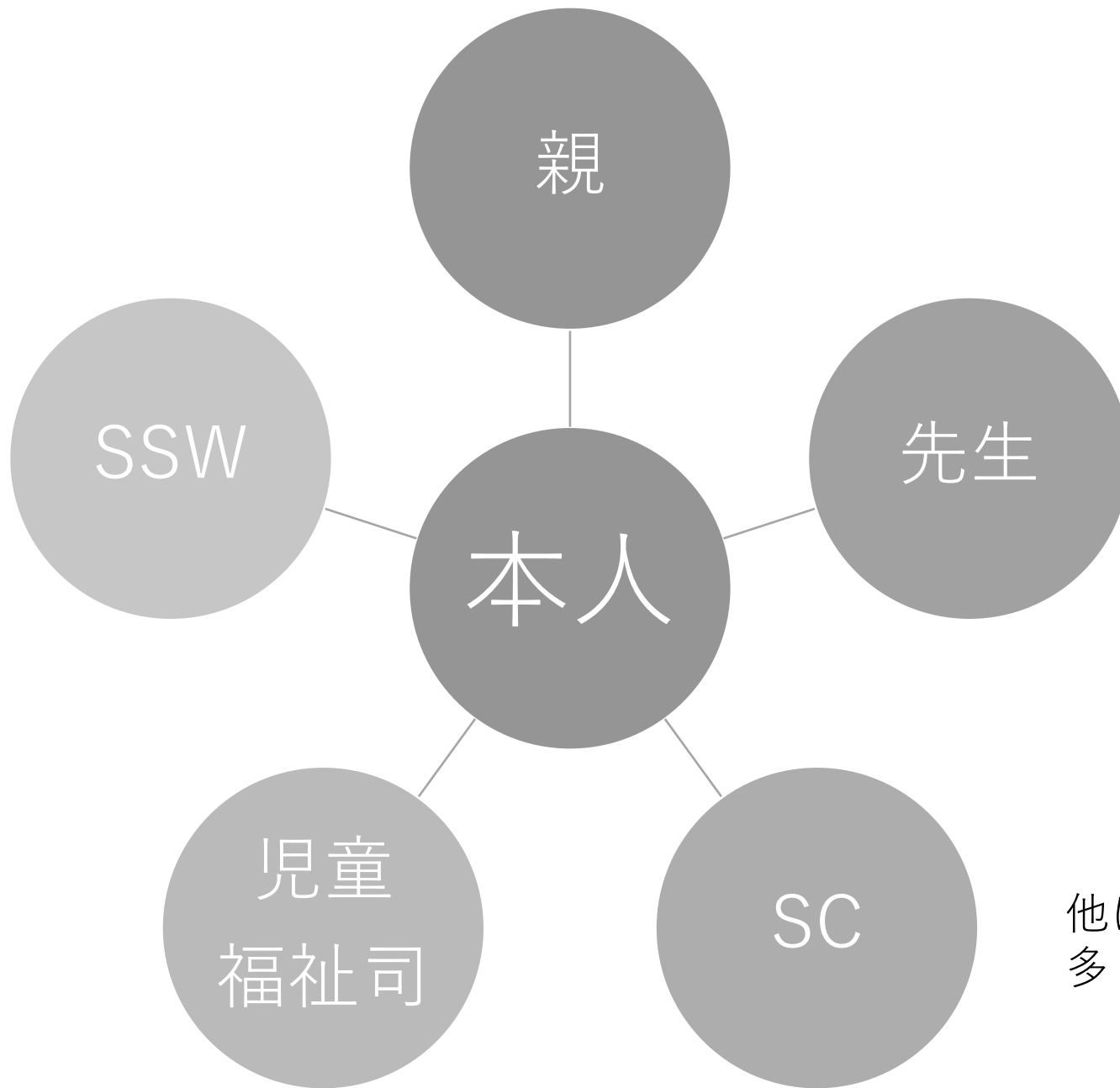
あそび・非行

無気力

不安など情緒的混乱

意図的な拒否

不登校児童の  
支援において  
関わる人たち



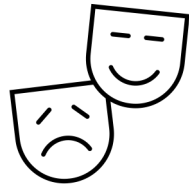
他にも  
多くの関わりが

# 結論を主張するための根拠A

無理やり行かされることに対し  
本人はストレス、トラウマを感じる

# 根拠Aが成立するために 必要なデータ①

方法 文献比較



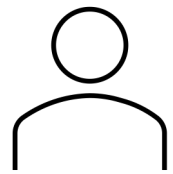
無理やり行かされて  
楽しい環境なのか



本人にとって  
楽しい環境とは

# 根拠Aが成立するために 必要なデータ②

方法 観察と比較



実体験をアウトプットし、論文と照らし合わせてみる



# 結論を主張するための根拠B

無理やり行かせることは  
不登校問題の根本解決に  
繋がっていない



不登校の長期化

# 根拠Bが成立するために 必要なデータ①

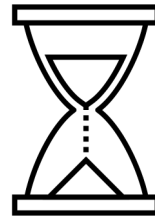
方法 文献比較



不登校の原因のタイプから  
無理やり行かせて解決するのがあるのか調べる

# 根拠Bが成立するために 必要なデータ②

方法 文献比較



不登校の解決のためにかかる  
時間

本人と周囲の信頼関係を作る  
時間

不登校の実例  
(不登校原因複雑のため長期化)

# 残った検討課題と検討方法

一人一人にあった  
支援をすべき



オンラインの活用

# 残った検討課題と検討方法が 成立するために必要なデータ③

方法 文献比較



オンラインのメリット

低学年のネットの普及率

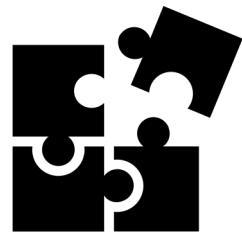
残った検討課題と検討方法が  
成立するために必要なデータ③

方法 観察？



リモート授業中で実際に感じたメリットから  
小学生にも反映できることを考察

# 研究の押しポイント



実体験を関連付けて、いろいろな人にわかりやすく。



# 今後の研究計画

不登校についての基礎知識

根拠Aのデータ 論文メイン

根拠Bのデータ 論文メイン

根拠ABのデータ 観察

オンラインについてのデータ